



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和6年9月12日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2024年第36週

(9/2~9/8)

8月報合併号

<情報編>

今週の主な動向

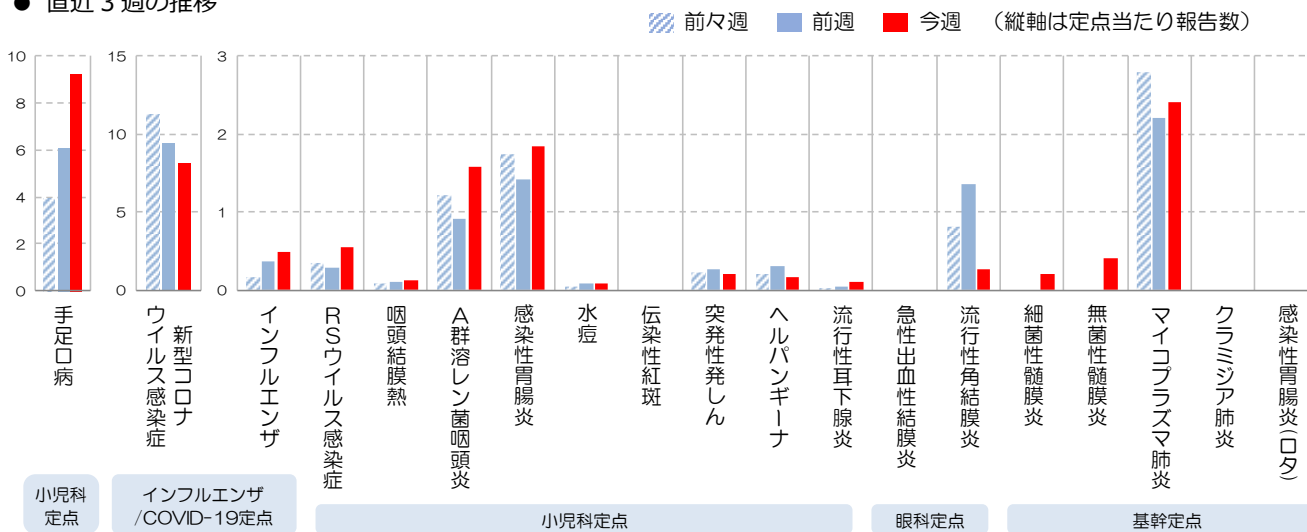
○手足口病について、患者報告数が増加しています。

○新学期が始まり、その他の感染症にも流行の兆しがみられるため、飛沫感染や手指を介した接触感染などに注意が必要です。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ/COVID-19 定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



全数把握対象疾患

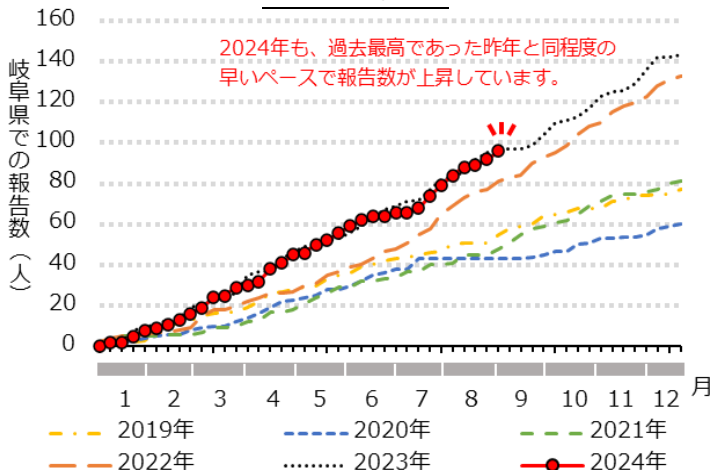
● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核6例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例
- 4類感染症：なし

5類感染症：水痘（入院例）1例、梅毒4例

トピック：梅毒

累積患者報告数



性感染症の一つである梅毒は、近年全国的に患者数が増加しており、岐阜県もその例外ではありません。昨年（2023年）はこれまでで最も多い患者報告数となりましたが、本年（2024年）もほぼ同程度の早いペースで増加しています。梅毒は、大人だけの病気ではなく、お母さんからお腹の赤ちゃんに感染することもあります（先天梅毒）。自分自身のため、パートナーそして赤ちゃんのためにも、感染の予防が何より大切です。また感染の心配のある方は周囲に拡がらないよう早急に検査を受け、早期治療を行うことが大切です。

※「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/291729.html>

<情報編>

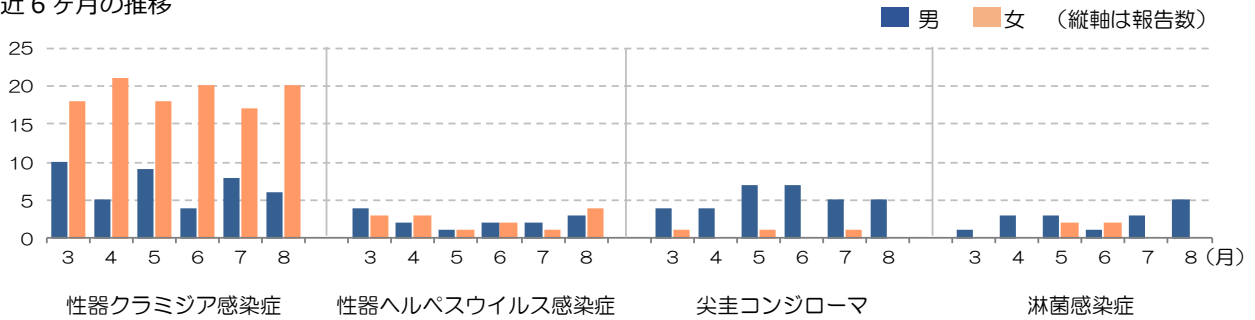
今月の主な動向

・大きな動向の変化は見られません。

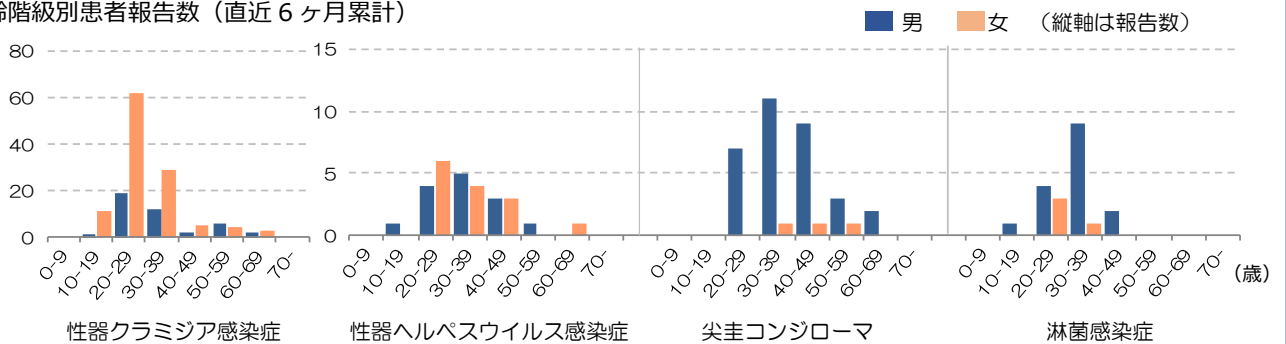
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近6ヶ月の推移

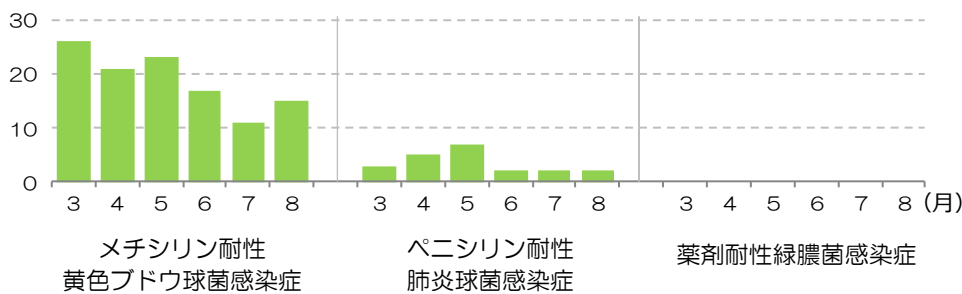


● 年齢階級別患者報告数 (直近6ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近6ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況 (令和6年9月8日現在結果判明分(新規検出分)：月は採取月を示す)

臨床診断名	病原体名 (遺伝子検出を含む)	6月	7月	8月
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH3		1	
	インフルエンザウイルス AH1pdm 型			1
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2		2	
	<i>Escherichia coli</i> O26:H11 VT1		5	
	<i>Escherichia coli</i> OUT(Og88):H12 VT1	24		
	<i>Escherichia coli</i> OUT(Og88) VT1	1		
A 群溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1 型			1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4 型			2
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルス A6 型		1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus agalactiae</i>			1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter cloacae</i> カルバペネマーゼ非産生		1	
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i>			1
デング熱	デング熱 2 型ウイルス		1	
E 型肝炎	E 型肝炎ウイルス		1	
A 型肝炎	A 型肝炎ウイルス			1

※詳細は HP をご覧ください (毎週更新) <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>